

③
フィルム

聖徒たちと歩む聖書 ~11~
アブラハム その3

「主を信じて
義とされる」

創世記15~16章 契約の締結

【今日のアウトライン】

0. ふりかえり

アブラハム契約のまとめ

I. 契約と割礼

II. イサク誕生の予告

III. まとめと適用

私たちにとっての
契約のしるしとは？



【無垢の時代】

【良心の時代】

【人類統治の時代】

【約束の時代】

【律法の時代】

【恵みの時代】

【御国の時代】

天地創造

墮罪
~大洪水

バベルの塔事件

アブラハム
~ヤコブ

イスラエル
王国時代
メシア初臨

聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

千年王国
大審判
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

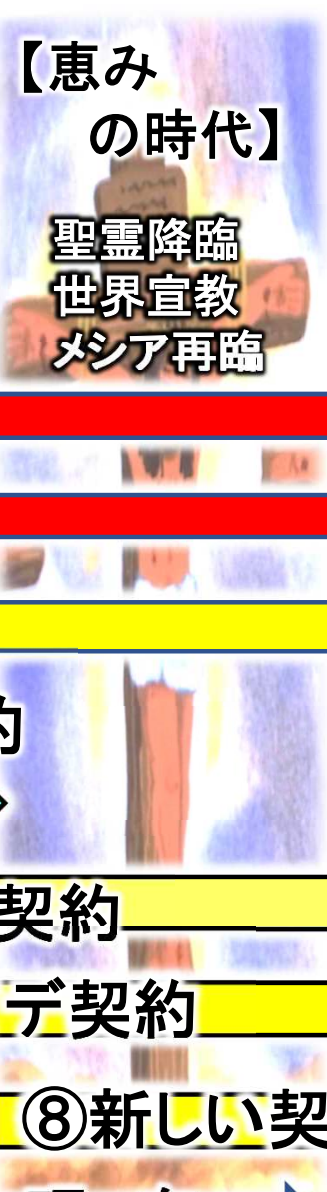
⑧新しい契約

【ディスペンセーション】
七つの時代区分と
八つの契約

過去

現在

未来



【無垢の時代】

【良心の時代】

【人類統治の時代】

【約束の時代】

【律法の時代】

【恵みの時代】

【御国の時代】

天地創造

墮罪
~大洪水

バベルの
塔事件

アブラハム
~ヤコブ

イスラエル
王国時代
メシア初臨

聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

千年王国
大審判
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

神の約束が、人類と世界の歴史を導く!!

過去

現在

未来

【創世記11章までに明らかになったこと】

①人類は、たった一つの約束も守れなかった。



②人類は、**良心**によって、世界を正しく治めることはできなかった。



③人類は、**組織**によっても、世界を正しく治められなかった。

人間は、自分の努力で、神との平和を作り出すことはできない!!
人類の希望は、神が約束された女の子孫、メシアにある!!

神の計画が、いよいよ、アブラハムから動き出す!!

【アブラハム契約】 12章で約束されたこと

■アブラム個人への祝福■

多くの民族がアブラムから生まれ、
アブラムの名が讃えられる。

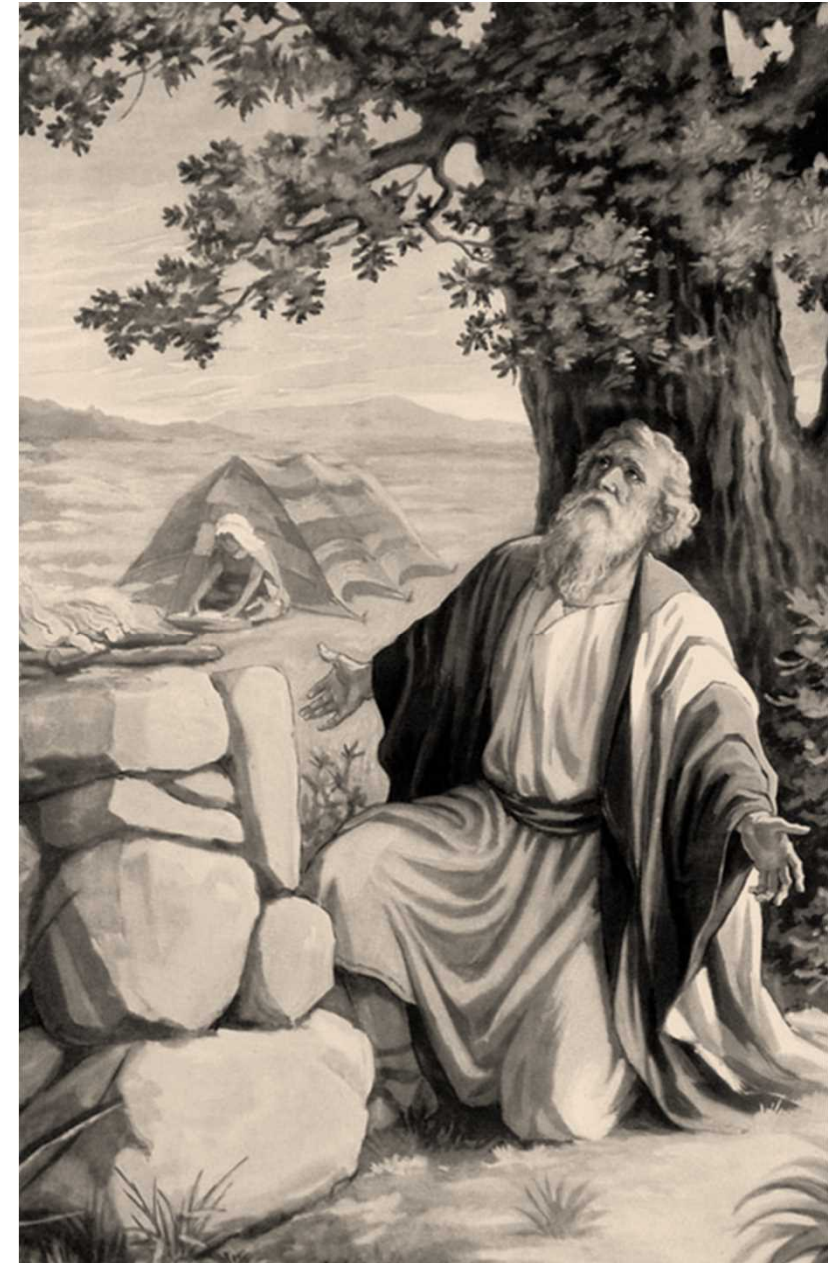
■アブラムと子孫を守る付帯条項■

アブラムを呪う者には呪いが、
祝福する者には祝福が与えられる。

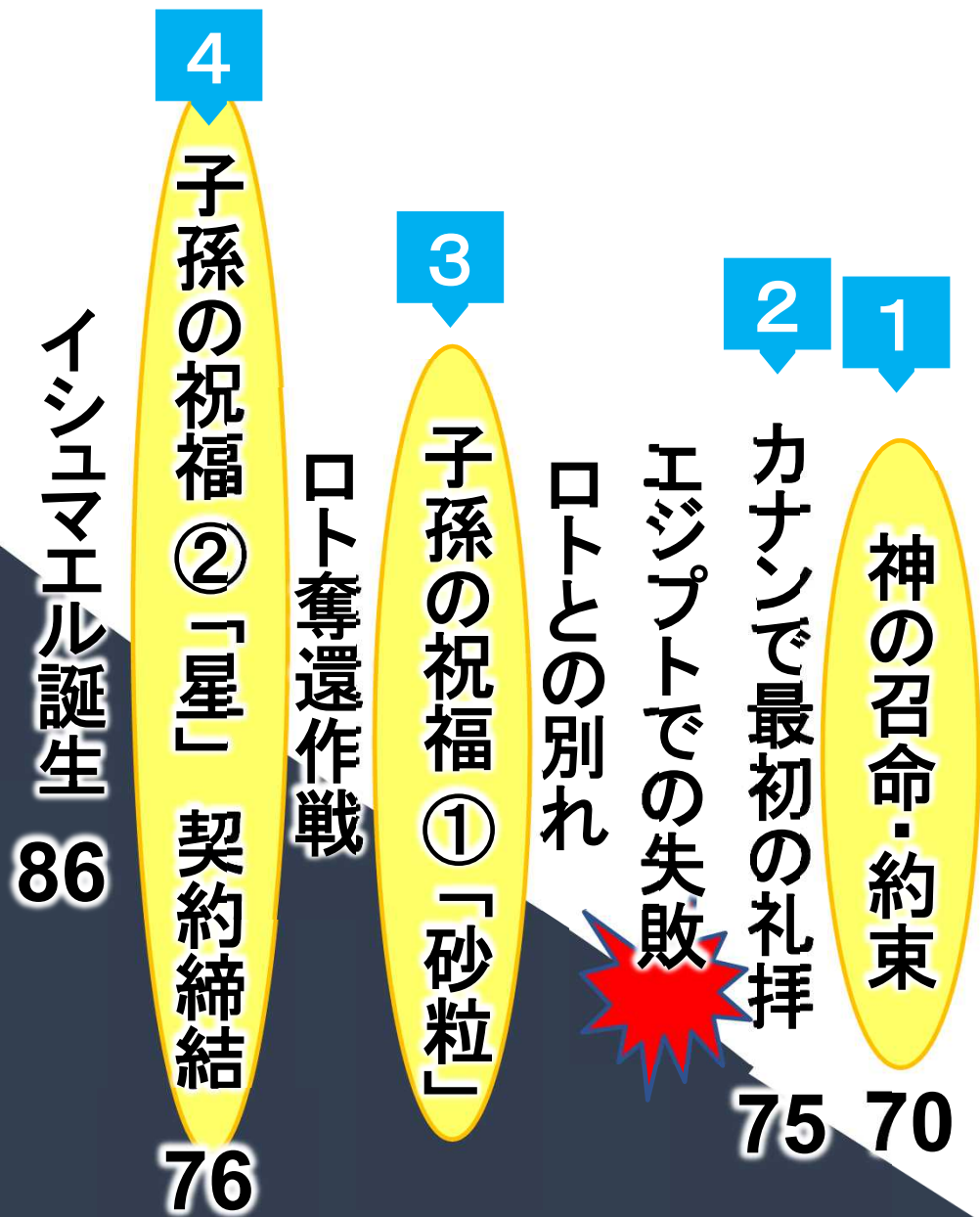
■メシアによる全民族への祝福■

「地上のすべての民族は、
あなたによって祝福される。」

⇒アブラムの子孫からメシアが誕生する。



【アブラハムの生涯】



【アブラムが学んだこと】 創世記18～19章

■ 神は、アブラムの子孫を、砂粒や星のように、
数えきれないほどに増やされる。

■ アブラムは、神の約束を信じ、
神は、アブラムを義と認められ、救われた。

※ただ信じて救われる → 救いの大原則・**信仰義認**

■ 神の約束は、一方的に結ばれた、**無条件契約**である。

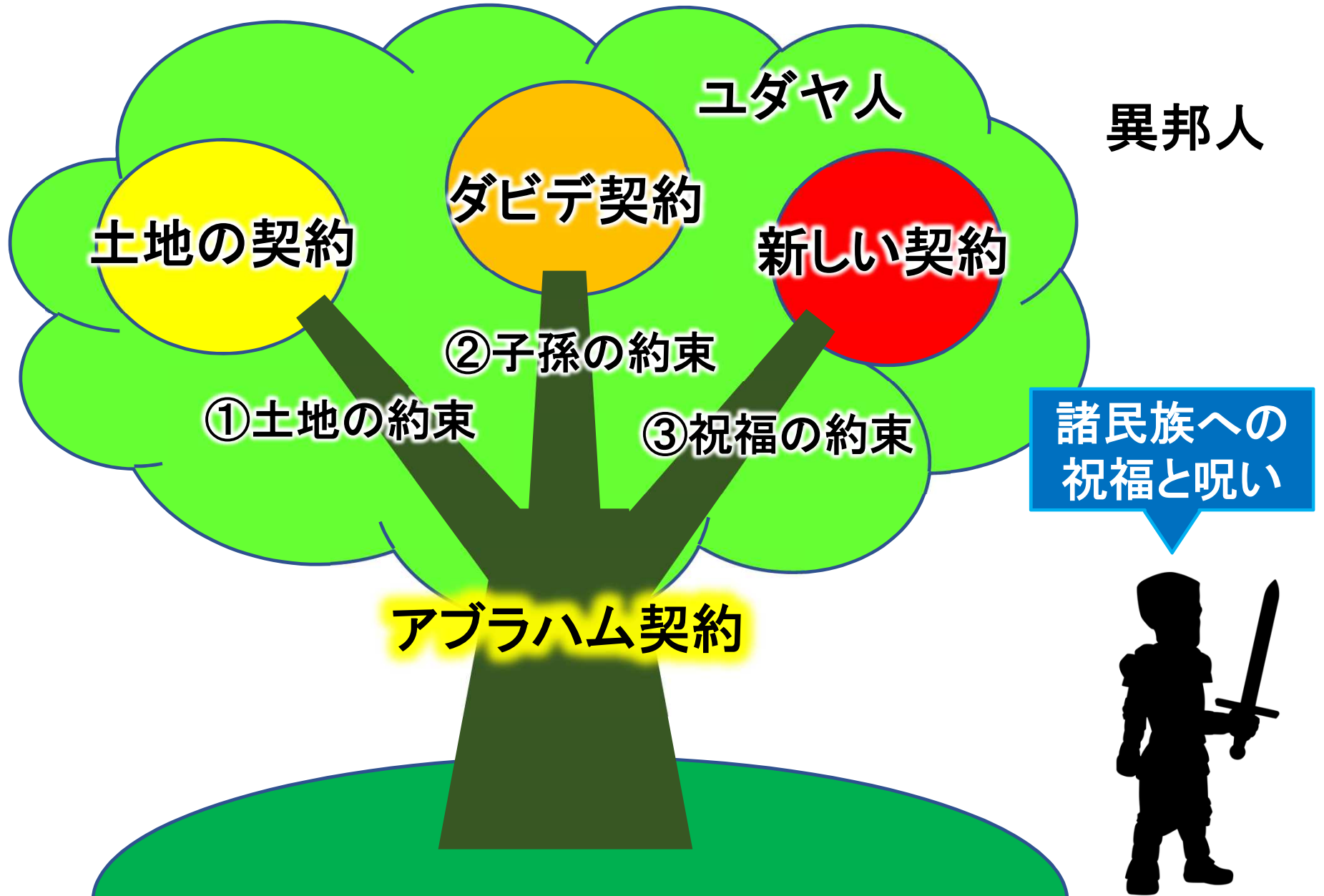
■ 選びの民には、使命と試練がある!!

⇒子孫が、エジプトで奴隷として400年を過ごす!!

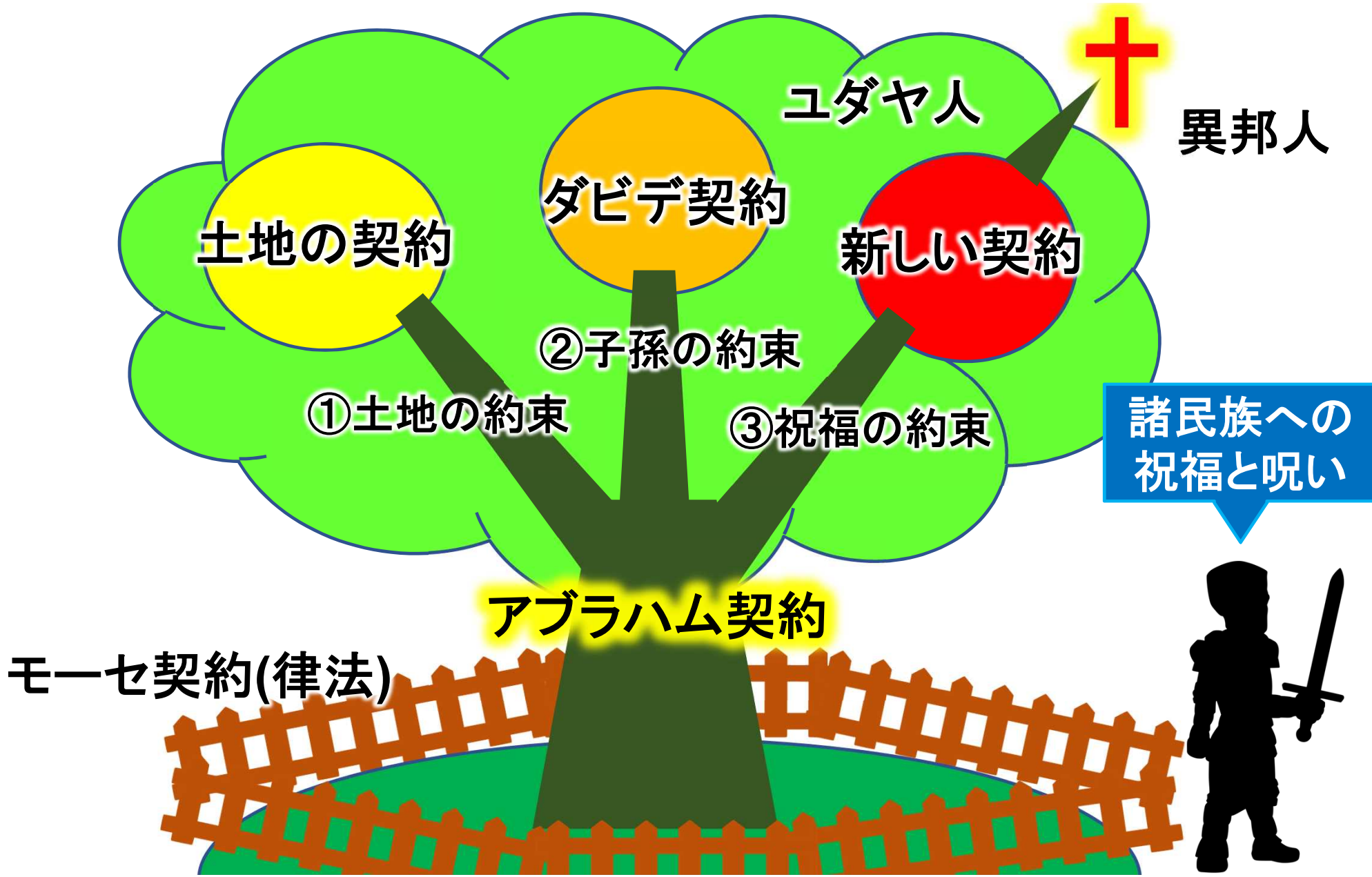
⇒この400年は、カナンの子孫の悔い改めの猶予期間!!



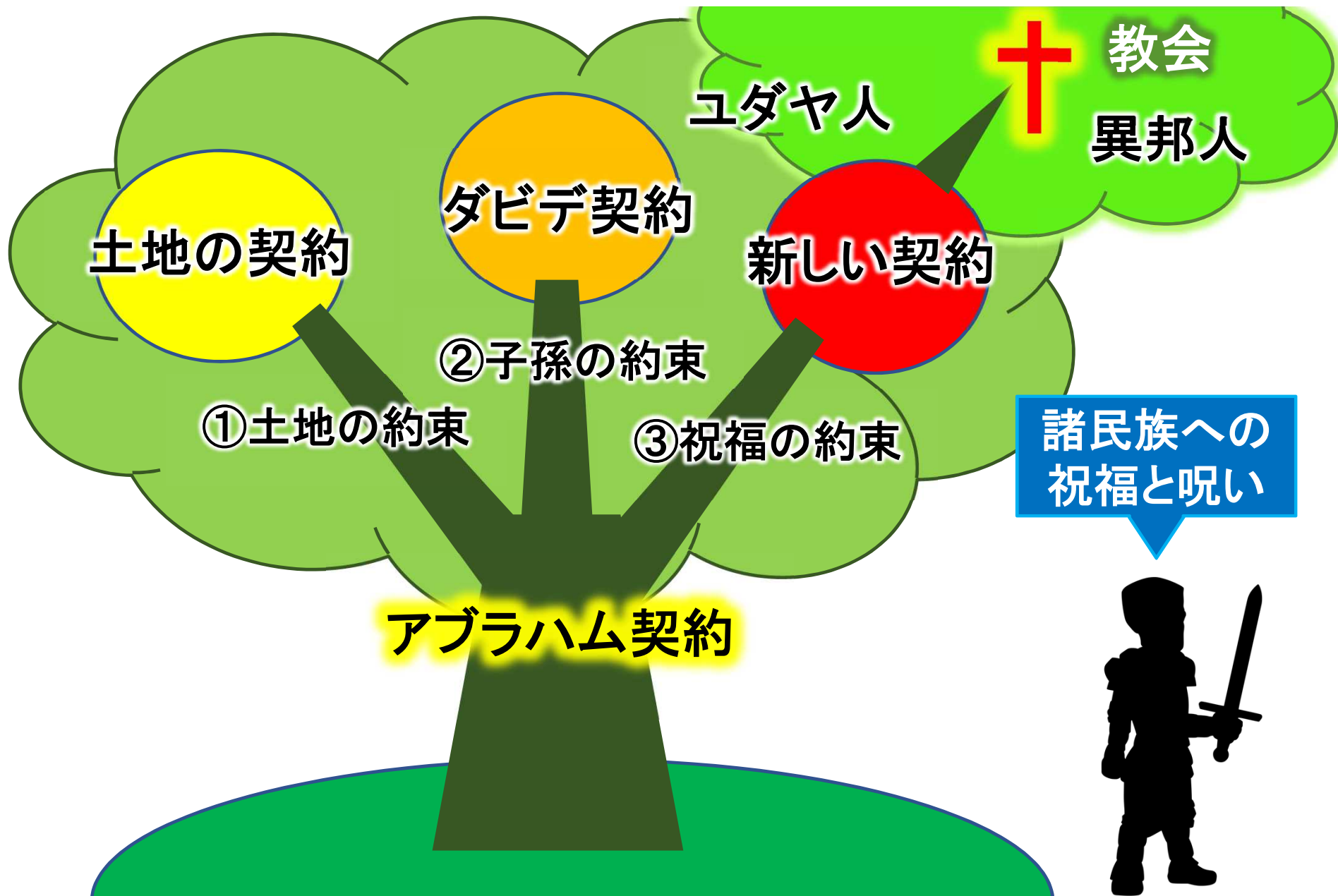
【アブラハム契約】



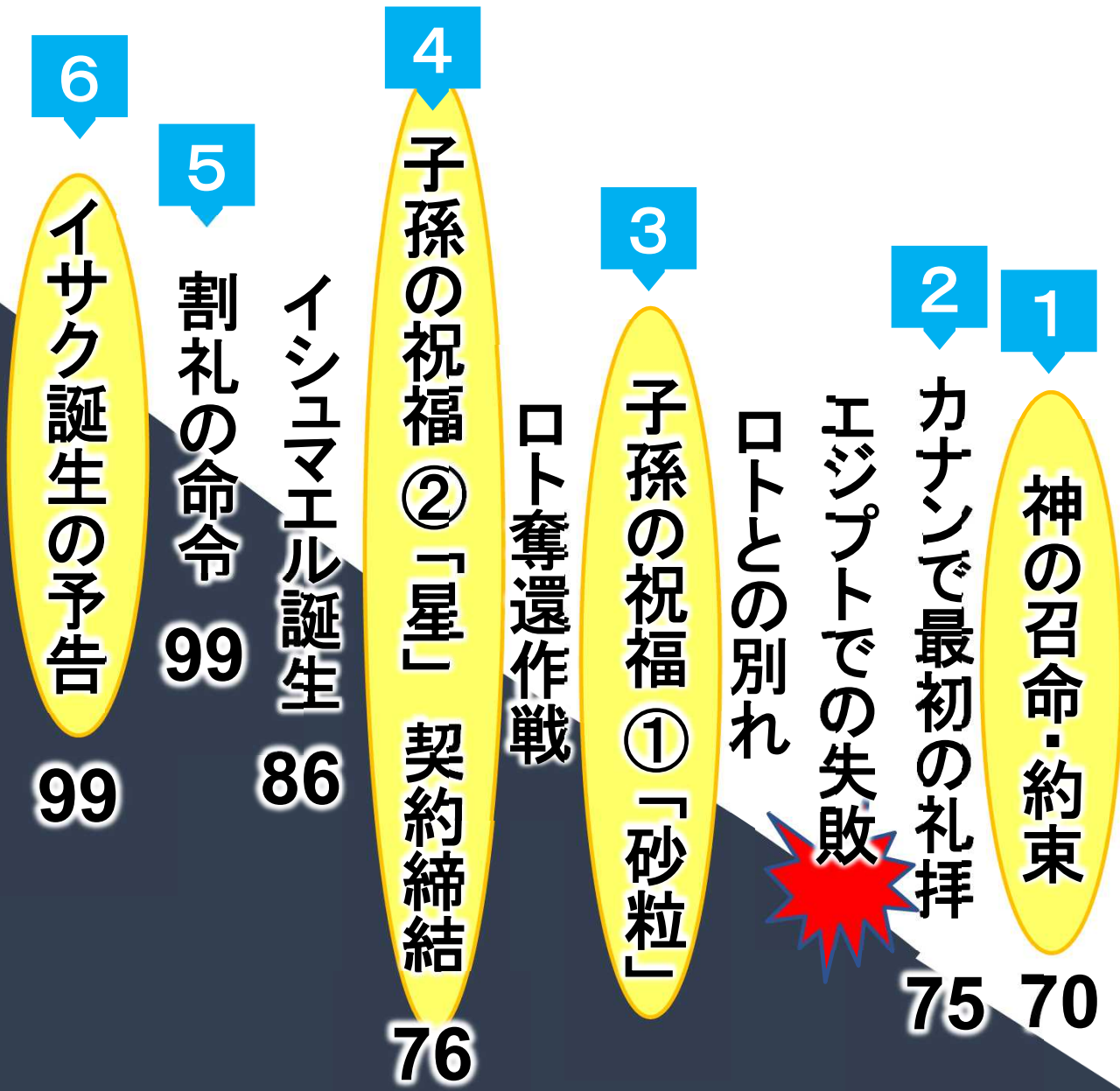
【律法の時代】



【教会の時代・今】



【アブラハムの生涯】



I. 契約と割礼

創世記17:1~26



【主の呼びかけ】 創17:1

アブラムが九十九歳になったとき【主】はアブラムに現れ、こう仰せられた。

■ 約束の地に来てから、24年目。

■ 神からの呼びかけは、これが5回目(全7回)

- ① 故郷ウルでの最初の召命 ...70歳
- ② 約束の地にたどりついた時 ...75歳
- ③ 甥ロトとの別れの後 ...75歳
- ④ 正式な契約締結の時 ...76歳
- ⑤ 割礼の命令 ...99歳(24年ぶり)



【主の呼びかけ】 創17:1~2

「わたしは全能の神である。あなたはわたしの前を歩み、全き者であれ。わたしは、わたしの契約を、わたしとあなたとの間に立てる。わたしは、あなたをおびただしくふやそう。」

- **全能の神(エル・シャダイ)** ...初出。
子孫の約束の文脈で使われる。
イスラエルを生み、育む神の名、ご性質。
- **全き者** ...完璧な人という意味ではない!!
完全に主を信頼する信仰者のこと!!



【新しい名】 創17:3～5

アブラムは、ひれ伏した。神は彼に告げて仰せられた。「わたしは、この、わたしの契約をあなたと結ぶ。あなたは多くの国民の父となる。

あなたの名は、もう、アブラムと呼んではならない。あなたの名はアブラハムとなる。わたしが、あなたを多くの国民の父とするからである。

■ アブラム ➡ 高くあげられた父

■ アブラハム ➡ 多くの者の父、諸国民の父
アラブ人、エドム人、そしてイスラエル人

※「ハ」は、息を吐きだす音。神の命の息吹?!



【確認される重要な約束・4回目】 創17:6～8

わたしは、あなたの子孫をおびただしくふやし、あなたを幾つかの国民とする。あなたから、王たちが出て来よう。

わたしは、わたしの契約を、わたしとあなたとの間に、そしてあなたの後のあなたの子孫との間に、代々にわたる永遠の契約として立てる。わたしがあなたの神、あなたの後の子孫の神となるためである。

わたしは、あなたが滞在している地、すなわちカナンの全土を、あなたとあなたの後のあなたの子孫に永遠の所有として与える。わたしは、彼らの神となる。」

子孫の約束

土地の約束



【契約のしるし・割礼】 創17:9～11

ついで、神はアブラハムに仰せられた。「あなたは、あなたの後のあなたの子孫とともに、代々にわたり、わたしの契約を守らなければならない。

次のことが、わたしとあなたがたと、またあなたの後のあなたの子孫との間で、あなたがたが守るべきわたしの契約である。あなたがたの中のすべての男子は割礼を受けなさい。

あなたがたは、あなたがたの包皮の肉を切り捨てなさい。それが、わたしとあなたがたの間の契約のしるしである。



【割礼の定め】 創17:12~14

あなたがたの中の男子はみな、代々にわたり、生まれて八日目に、割礼を受けなければならない。家で生まれたしもべも、外国人から金で買い取られたあなたの子孫ではない者も。

あなたの家で生まれたしもべも、あなたが金で買い取った者も、必ず割礼を受けなければならない。わたしの契約は、永遠の契約として、あなたがたの肉の上にするされなければならない。

包皮の肉を切り捨てられていない無割礼の男、そのような者は、その民から断ち切られなければならない。わたしの契約を破ったのである。」



【割礼とは？】

- 男性器の包皮の一部を切り取る儀式
(割礼の儀式は世界各地にある。エジプトも)
- イスラエルの男子全員(異邦人奴隷も)が対象
- イスラエルにとっての割礼の意味は？
 - ① アブラハム契約のしるしを身に刻む
 - ② 約束の子、メシア誕生を覚える
 - ③ 血の契約の強調 ➡ 割礼の時に血が流れる。
- 今も、ユダヤ人は割礼を義務付けられている!!
➡ メシアニック・ジューも!!



【サライからサラへ】 創17:15～16

また、神はアブラハムに仰せられた。「あなたの妻サライのことだが、その名をサライと呼んではならない。その名はサラとなるからだ。

わたしは彼女を祝福しよう。確かに、彼女によって、あなたにひとりの男の子を与えよう。わたしは彼女を祝福する。彼女は国々の母となり、国々の民の王たちが、彼女から出て来る。」

■ サライ ...私の王女 ■ サラ ...王女。

(※語尾が息を吐きだす音に!!)

■ サラが、メシアにつながる約束の子の母に!!



アブラハムとサラに
神が命の息を吹き
込み、約束の子が
誕生する!!

【イサク誕生の予告】 創17:17～19

アブラハムはひれ伏し、そして笑ったが、心の中で言った。「百歳の者に子どもが生まれようか。サラにしても、九十歳の女が子を産むことができようか。」そして、アブラハムは神に申し上げた。「どうかイシュマエルが、あなたの御前で生きながらえますように。」すると神は仰せられた。「いや、あなたの妻サラが、あなたに男の子を産むのだ。あなたはその子をイサクと名づけなさい。わたしは彼とわたしの契約を立てそれを彼の後の子孫のために永遠の契約とする。

■ イサク ...「笑い」の意味。



【イシュマエルとイサク】 創17:20～22

イシュマエルについては、あなたの言うことを聞き入れた。確かに、わたしは彼を祝福し、彼の子孫をふやし、非常に多く増し加えよう。彼は十二人の族長たちを生む。わたしは彼を大いなる国民としよう。

しかしわたしは、来年の今ごろサラがあなたに産むイサクと、わたしの契約を立てる。」

神はアブラハムと語り終えられると、彼から離れて上られた。

- イシュマエルの子孫も祝福される。⇒アラブ人
- しかし、契約を継承するのはあくまで、イサク



【忠実に実行された割礼の命令】 創17:23～27

そこでアブラハムは、その子イシュマエルと家で生まれたしもべ、また金で買い取った者、アブラハムの家の人々のうちのすべての男子を集め、神が彼にお告げになったとおり、その日のうちに、彼らの包皮の肉を切り捨てた。

アブラハムが包皮の肉を切り捨てられたときは、九十九歳であった。その子イシュマエルが包皮の肉を切り捨てられたときは、十三歳であった。

アブラハムとその子イシュマエルは、その日のうちに割礼を受けた。彼の家の男たち、すなわち、家で生まれた奴隷、外国人から金で買い取った者もみな、彼といっしょに割礼を受けた。



Ⅱ. イサク誕生の予告

創世記18:1～15



【三人の使い】 創18:1~2

【主】はマムレの檜の木のそばで、アブラハムに現れた。彼は日の暑いころ、天幕の入口にすわっていた。彼が目を上げて見ると、三人の人が彼に向かって立っていた。彼は、見るなり、彼らを迎えるために天幕の入口から走って行き、地にひれ伏して礼をした。

■ヘブロンのアブラハムの居留地

■ユダヤの伝承では割礼の三日後!

➡傷が一番痛むころ

■三人の一人は、受肉前のキリスト

➡神からの6度目の直接の呼びかけ



【アブラハムの嘆願】 創18:3～5

そして言った。「ご主人。お気に召すなら、どうか、あなたのしもべのところを素通りなさらないでください。少しばかりの水を持って来させますから、あなたがたの足を洗い、この木の下でお休みください。私は少し食べ物を持ってまいります。それで元気を取り戻してください。それから、旅を続けられるように。せつかく、あなたがたのしもべのところをお通りになるのですから。」彼らは答えた。「あなたの言ったとおりにしてください。」



■ 遊牧の民としての最上の、お・も・て・な・し

【もてなしの宴】 創18:6～8

そこで、アブラハムは天幕のサラのところに急いで戻って、言った。「早く、三セア(*20L)の上等の小麦粉をこねて、パン菓子を作っておくれ。」

そしてアブラハムは牛のところに走って行き、柔らかくて、おいしそうな子牛を取り、若い者に渡した。若い者は手早くそれを料理した。

それからアブラハムは、凝乳と牛乳と、それに、料理した子牛を持って来て、彼らの前に供えた。彼は、木の下で彼らに給仕をしていた。こうして彼らは食べた。

「旅人をもてなすことを忘れてはいけません。こうして、ある人々は御使いたちを、それとは知らずにもてなしました。ヘブル13:2」



【サラへのイサク誕生予告】 創 18:9～12

彼らはアブラハムに尋ねた。「あなたの妻サラはどこにいますか。」それで「天幕の中にいます」と答えた。するとひとりが言った。「わたしは来年の今ごろ、必ずあなたのところに戻って来ます。そのとき、あなたの妻サラには、男の子ができています。」サラはその人のうしろの天幕の入口で、聞いていた。

アブラハムとサラは年を重ねて老人になっており、サラには普通の女にあることがすでに止まっていた。それでサラは心の中で笑ってこう言った。「老いぼれてしまったこの私に、何の楽しみがあろう。それに主人も年寄りで。」



【主の前に恐れるサラ】 創 18:13～15

そこで、【主】がアブラハムに仰せられた。「サラはなぜ『私はほんとうに子を産めるだろうか。こんなに年をとっているのに』と言って笑うのか。

【主】に不可能なことがあるか。わたしは来年の今ごろ、定めた時に、あなたのところに戻って来る。そのとき、サラには男の子ができています。」

サラは「私は笑いませんでした」と言って打ち消した。恐ろしかったのである。しかし主は仰せられた。「いや、確かにあなたは笑った。」



■「わたし」と自称する、「主の使い」 ➡子なる神自身

■創造主は、全知全能。不可能はない。 ➡恐れを抱くサラ



IV. まとめと適用

私たちにとっての
契約のしるしとは？

【割礼が意味することとは？】

■ 割礼は、アブラハム契約のしるし

■ イスラエルへの神の約束を、その身に刻み、常に確認するためのもの

①子孫の約束 ②土地の約束 そして、③祝福の約束

自分たちの子孫から誕生する(誕生した)メシアを、覚えるためのもの。

■ イスラエルに対する、今も生きている神の命令

■ 割礼は、救いの条件ではない!!

割礼を行わずに、たとえ神に命をとられたとしても、

神の約束を信じた者から、救いが取り去られることはない!!

【私たちのための契約のしるしとは？】

- 洗礼式(バプテスマ)。...二つの聖礼典、洗礼と聖餐の一つ。
- 洗礼は、主の命令にしたがって行う、信じて救われたしるし。
イエス・キリストとの一体化、福音との一体化を現す。
- 洗礼は、救いの条件ではない。
- クリスチャンも、罪を犯して悔い改めがなければ、最悪、死を招くことも!!
しかし、それでも、一度与えられた救いが失われることはない!!

【信じる者の心に刻まれた聖霊の証印を覚えよう!!】

■使徒パウロからコリント教会の信者への呼びかけ IIコリント1:20～24

神の約束はことごとく、この方において「しかり」となりました。それで私たちは、この方によって「アーメン」と言い、神に栄光を帰するのです。

私たちをあなたがたといっしょにキリストのうちに堅く保ち、私たちに油をそそがれた方は神です。

神はまた、確認の印を私たちに押し、保証として、御霊を私たちの心に与えてくださいました。

私はこのいのちのかけ、神を証人にお呼びして言います。私がまだコリントへ行かないでいるのは、あなたがたに対する思いやりのためです。

私たちは、あなたがたの信仰を支配しようとする者ではなく、あなたがたの喜びのために働く協力者です。

あなたがたは、信仰に堅く立っているからです。

【聖霊の証印が教える、救いと聖化の原則】

- 福音を信じたすべての人に、聖霊の証印が押されている。
神の所有とされ、神の国に入ること、永遠の命が約束されている。
➡ 誰も、どんなできごとでも、この恵みを奪うことはできない!!
- 信じた者の内に住まわれる聖霊が、その人を導く!!
- 地域教会のリーダーは、信者一人一人が、聖霊によって直接神とつながり、喜びあふれていくために、協力者として側面からサポートする。
- 常に求められるのは、信じて救われた、その土台である信仰に、主イエス・キリストの福音に、立ち続けていくこと!!

「天のお父さま。

わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、

②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、

③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。

わたしは、この信仰(しんこう)により、恵(めぐ)みによって、救(すく)われ、聖霊(せいれい)の証印(しょういん)を押(お)されました。ただよろこんで、みことばを味(あじ)わい、福音(ふくいん)を宣(の)べ伝(つた)え、たがいに育(はぐく)みあっていくものとして、もちい、つかわしてください。

主(しゅ)イエス・キリストの御名(みな)によって祈ります。

アーメン」